

編・部・章	節	タイトル (コンテンツなし)	ページ数
総論編	はじめに	はじめに	右 1
	総論.1	環境問題と環境対策の体系	4
	総論.2	環境問題の構成	2
	総論.3	環境対策の構成	4
環境問題編			
第1部 大気環境	第1部紹介	環境問題編と第1部の紹介	右 1
第1章 地球の大気環境	1.1.1	地球の温暖化	4
	1.1.2	酸性雨	2
	1.1.3	オゾン層の破壊	2
第2章 地域の大気環境	1.2.1	浮遊粒子状物質	2
	1.2.2	二酸化硫黄	6
	1.2.3	窒素酸化物	2
	1.2.4	光化学オキシダント	2
	1.2.5	揮発性有機化合物 (VOC)	2
第3章 騒音の環境	1.3	騒音と振動	2
第4章 悪臭の環境	1.4	悪臭	2
第1部 コラム	コラム	青い空と白い雲	左 1
第2部 水質環境	第2部紹介	注：日本国内のみ対象	右 1
第1章 環境基準	2.1	水質の環境基準	4
第2章 水質環境	2.2	水質の状況と環境影響	2
第2部 コラム	コラム	生活用水の使用量と使い方	左 1
第3部 廃棄物環境	第3部紹介	注：日本国内のみ対象	右 1
第1章 日本の物質フロー	3.1	日本の物質フローと廃棄物	2
第2章 一般廃棄物	3.2.1	廃棄物の区分と発生量	6
	3.2.2	一般廃棄物の処理と処分	4
第3章 産業廃棄物	3.3	産業廃棄物の処理と処分	2
第3部 コラム	コラム	廃棄物と国民所得の水準	左 1
第4部 自然環境	第4部紹介	注：土壌と森林に限定、生物多様性は除外	右 1
第1章 土壌の環境	4.1	土壌の環境	2
第2章 自然環境	4.2	森林の環境	2
第4部 コラム	コラム	イースター島の教訓	左 1
エネルギー供給編			
第1部 エネルギー需給	第1部紹介	エネルギー供給編と第1部の紹介	右 1
	1.1	世界のエネルギー構成	4
	1.2	日本のエネルギー構成	4
第1部 コラム	コラム	桃太郎じいさんの柴刈り	左 1
第2部 燃料供給	第2部紹介	対象を天然ガス、石油、石炭に限定	右 1
第1章 天然ガス	2.1.1	天然ガスと LNG	4
	2.1.2	天然ガスの採掘と液化施設構成	4
	2.1.3	天然ガスの液化プロセスと設備	8
	2.1.4	液化天然ガス (LNG) の海上輸送	2
	2.1.5	液化天然ガス (LNG) の再ガス化	4
	2.1.6	液化天然ガス (LNG) の冷熱利用	4
第2章 石油	2.2.1	原油の資源・品質・海上輸送	4

	2.2.2	石油製品の種類と用途	4
	2.2.3	日本の石油精製と燃料油生産量	2
	2.2.4	製油所の設備構成	8
	2.2.5	燃料油とLPガスの供給	2
第3章 石炭	2.3.1	石炭の起源・賦存状況・採炭方法	4
	2.3.2	日本の石炭利用形態と流通施設	2
第2部 コラム	コラム	人口光合成は夢か現実か	左1
第3部 電力供給	第3部紹介	火力発電、原子力発電、水力、太陽光、風力	右1
第1章 電力供給の仕組み	3.1	電力供給の仕組み	4
第2章 火力発電	3.2	火力発電	6
第3章 原子力発電	3.3	原子力発電	6
第4章 再生可能発電	3.4.1	水力発電	4
	3.4.2	太陽光発電	6
	3.4.3	風力発電	6
	3.4.4	地熱発電	4
	3.4.5	バイオマス発電	6
第5章 電力貯蔵	3.5.1	電力貯蔵の必要性	4
	3.5.2	電力貯蔵の方法	8
	3.5.3	電力貯蔵方法の適用性	4
第3部 コラム	コラム	家庭で使われている電池の用途と個数	左1
第4部 熱供給	第4部紹介	地域熱供給と太陽熱温水器	右1
	4.1	地域熱供給	8
	4.2	太陽熱温水器	4
第4部 コラム	コラム	昔の行水は今の太陽熱温水器	左1
環境対策編			
第1部 環境負荷の発生抑制	第1部紹介	環境対策編と第1部の紹介	右1
第1章 長寿命化と再利用	1.1.1	住宅（戸建て・集合）の長寿命化	2
	1.1.2	自動車（乗用車）の長寿命化	2
	1.1.3	耐久消費財の長寿命化	2
第2章 使用済み消費財の再生利用	1.2.1	鉄スクラップの再生利用	4
	1.2.2	アルミスクラップの再生利用	4
	1.2.3	廃自動車の再生利用	4
	1.2.4	廃家電製品の再生利用	2
	1.2.5	建設廃材の再生利用	2
	1.2.6	食品廃棄物の再生利用	2
	1.2.7	飲料容器と包装容器の再生利用	8
	1.2.8	印刷物と段ボールの再生利用	2
第3章 ライフスタイルの選択	1.3.1	電力の選択	4
	1.3.2	給湯方法の選択	2
	1.3.3	暖房方法の選択	2
	1.3.4	生活習慣の選択	4
第4章 社会システムの変革	1.4.1	清掃工場の廃熱利用	4
	1.4.2	プラスチック包装容器のリサイクル	6
	1.4.3	社会習慣の選択	4
第1部 コラム	コラム	江戸時代は3Rの世界	左1
第2部 燃料の環境負荷抑制	第2部紹介	燃料の環境負荷抑制（硫黄分と灰分）	右1
	2.1.1	天然ガスの環境負荷物質除去	2
	2.1.2	石油の環境負荷物質除去	6
第2部 コラム	コラム	汚れは広まる前に洗うのが得策	左1
第3部 エネルギー効率の向上	第3部紹介	エネルギー効率の向上、各章の紹介	右1

第1章 製造業のエネルギー効率向上 43%	3.1.1	鉄鋼業（29.0%）のエネルギー効率向上	2
	3.1.2	化学産業（39.6%）のエネルギー効率向上	4
	3.1.3	窯業土石（6.4%）のエネルギー効率向上	4
	3.1.4	紙パルプ産業（5.9%）のエネルギー効率向上	4
	3.1.5	非素材系（19.1%）のエネルギー効率向上	2
第2章 業務部門のエネルギー効率向上	3.2	業務部門のエネルギー効率向上： オフィスビル、商業施設、病院	6
第3部 コラム	コラム	焚火とコンロと給湯器のエネルギー効率	左1
第4部 環境負荷の無害化処理	第4部紹介	構成説明（発生源処理、集中処理、最終処分、 損傷環境の修復）	右1
第1章 発生源処理	4.1.1	集塵機の種類と性能	6
	4.1.2	排煙脱硫装置の種類	4
	4.1.3	排煙脱硫のプロセスと適用性	6
	4.1.4	窒素酸化物の発生抑制と排煙脱硝	6
	4.1.5	揮発性有機化合物の発生抑制	8
	4.1.6	揮発性有機化合物の回収と焼却	8
	4.1.7	排水の排出基準と処理工程	8
	4.1.8	生活排水の発生源処理	2
	4.1.9	騒音防止	4
	4.1.10	悪臭防止	2
第2章 集中処理	4.2.1	下水道と下水処理	6
	4.2.2	一般廃棄物処理	6
	4.2.3	産業廃棄物処理	4
	4.2.4	放射性廃棄物の処理	4
第3章 最終処分	4.3	最終処分	2
	4.4	汚染土壌と富栄養化水域の修復	4
第4部 コラム	コラム	紙ごみとプラスチックごみ	左1
第5部 環境管理の仕組み	第5部紹介	構成説明（法規、アセスメント、環境監視）	右1
第1章 環境関連法規	5.1.1	環境基本法	2
	5.1.2	大気汚染防止法	8
	5.1.3	騒音防止法	4
	5.1.4	悪臭防止法	4
	5.1.5	水質汚濁防止法	8
	5.1.6	資源循環法	4
	5.1.7	容器包装リサイクル法	4
	5.1.8	家電リサイクル法	2
	5.1.9	自動車リサイクル法	6
	5.1.10	建設リサイクル法	2
	5.1.11	食品リサイクル法	2
	5.1.12	廃棄物処理法	8
	5.1.13	環境アセスメント法	6
第2章 環境アセスメント	5.2.1	環境アセスメントの実施状況	4
第3章 環境モニタリング	5.3.1	大気環境の監視	4
	5.3.2	水質環境の監視	4
第5部 コラム	コラム	環境対策にも費用対効果の視点を	左1
総括			
おわりに		おわりに	右1
著者略歴		著者略歴	左1

本編 108 項目・98+160+174=432 頁（各 1~8 ページ）、本編外・29 頁 総計 461 頁